

住み慣れた地域・我が家で

暮らせることの喜び！！



みんなで笑顔「木のおうち」訪問看護リハビリステーションです。みんなで笑顔をモットーに「住み慣れた地域で、どんなときも安心して自分らしく暮らし続けたい」というお気持ちに寄り添いサポートします。

「昔から住んでいた家で暮らしたいなあ」

「やっぱり自分の家は落ち着くわあ」

怪我・病気になっても住み慣れた地域・我が家で暮らせることの喜びはご利用者様にとって大変重要なことだと思い、日々訪問看護リハビリステーションとして看護・リハビリをさせていただいております。

「看護」と「リハビリ」両方の専門的な視点に立ち、寄り添い、安全で質の高いサービスをご利用者様とご家族に提供しております。スタッフも看護・リハビリの知識だけでなく人生経験豊かなスタッフが揃っております。現在スタッフは看護師5名、理学療法士5名、事務員1名の計11名(うち看護師2名は同施設内、児童デイサービスに派遣)で運営させていただいております。個性豊かなスタッフが揃っているので、紹介させていただきます。

【自己紹介①】

看護師・藤崎享子

【趣味】ガーデニング

【好きな言葉】塞翁が馬



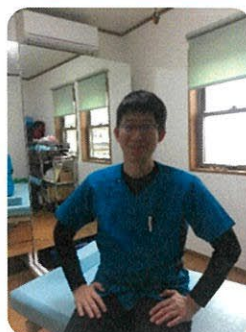
管理者で看護師の藤崎です。人生、塞翁が馬！どうせするなら今できることを全力ですが、モットーです。子育てに仕事に毎日忙しくも、楽しく奮闘しております。寄り添う笑顔と思いやりで看護をさせていただいております。木のおうち訪問看護リハビリステーションは経験豊富なスタッフが揃っております。もし何かお困りのことがございましたら、お気軽にご相談下さい。

【自己紹介②】

理学療法士・田辺陽一

【趣味】車の運転・旅

【好きな言葉】何とかなる



普段は、運転が好きなので全国各地飛び回っています。うちの家族は父が全盲、母は足が悪く、両親ともに障害者というある意味、奇跡的なおうちです。そのため自分の小さい頃は、近所の方や友人、また公共サービスなどに支えられていきてきました。その中で、自然と「人の役に立ちたい」という気持ちが生まれてきました。しかし自分自身も視覚障害になり、盲学校に行って思ったことは支え過ぎてもだめだということ。子育てなどと一緒であまりやり過ぎてしまうと、それがあたり前になってしまう。それによってその方の自立心まで損なってしまうということ。ですので、そこそこ手伝い、そこそこ頑張ってもらおうというスタイルができました。現在は視力、視野も回復し、車で各ご家庭に周りリハビリをさせていただいております。